

すべての民主的学友は民主同盟に結集しよう。

統一会議の敗北主義的拒否権を棄て最高決定機能をもつ 全学協、学部協を闘いとろう！

制度万能、敗北主義的「拒否権」が大学の民主的改進黨「全学協」学部協の確立なり。

歴史的な重大斗争における「悲劇的事態」を突破し、政府独占は極めて強制的に、大学自身破壊、全面的かつ反動的な再編成にのり出している。東大入試中止、全日各大学への統制導入はその開始をつづけている。ななる情勢の下、全日各大学、大学の民主的改進黨をめざす闘いが未曽有の規模で展開されている。市大医学部民主化斗争も全日各大学の医学部には及び医学部特有の封建制・医局制度を打破し、大学に反独占の苦戦を極めて支える闘いとして展開され数々の成果を収めてきた。今や我々は、反動的且つ無責任なやり方な田中医学部長を退陣させ、教授会を徹底的に倒すため、新たに医学部を創出する時案に立ち至っている。

現在、何よりも必要なのは、大学の民主的改進黨、全大の闘い準備をなすこと、大衆主体を反独占の立場に立たせていくための具体的方針を確立していく事である。大学の全日各大学の代表となり、台意を全日各大学に実行義務を持つ、徹底的な最高決定権を持つ全学協を、各学部においても、それに準じた形の学部協を闘い出さなければならない、このことである。

これに對して、共斗会は統一会議（共斗会）は、社会同、革新アルファの主張する「拒否権」とは、教授会は反動的であり、非和解的対立関係にある故、反動的である教授会に民主的改進黨の展開はななく、クダ「拒否権」あるのみ、という全く日和見主義的敗北主義的主張である。誤った教授会に對してはストライキその他我々の主張を貫徹する手段であり、「拒否権」とは、斗いむすとして闘う制度を力づけることである。制度万端論である。大学の民主的改進黨を放棄した上で、以上の日和見主義のやり方をするのだろうか。

民主化斗争を妨害する封鎖↓大学解体路線を断固として許すな！

自ら自社会同諸君が、封鎖をやろうとして医学部へおしなれた。各大学で封鎖と教材に封鎖導入を行なっているが、市大においては社会同、統一会議（共斗会）諸君は、やっきになって大学封鎖を断固として許している。封鎖の意味するものは、彼らという「帝國主義大学解体」が大学破壊路線以外の何ものでもないし、彼らの意図とは別に、封鎖が大学自身を破壊し、自らの日和見性と敗北主義をいちじくの葉でおおいなくす戦術的エスカレーターではすまない。

民主化闘争の敵対物=封鎖⇒大学解体路線を許すな！

国共学連の旗の下、統一全学連を再建しよう。